

小型コンポスト(バッグ型コンポスト)
モニターアンケート結果報告書(最終)



(令和7年3月)

大阪市環境局

目次

1	実証実験概要【目的】・【実施内容】・【モニター期間】	2
2	モニターアンケート結果	3
Q1	小型コンポストによる生ごみのたい肥化の経験について	3
Q2	小型コンポストのモニターに応募したきっかけ、理由は	3
Q3	小型コンポストを利用することで、毎日のごみ量（生ごみ量） はどれくらい減りましたか。	4
Q4	小型コンポストの現状をお聞かせください。	6
Q5	出来たたい肥の利用方法をお聞かせください。	7
Q6	取り組んでみて苦労した点をお聞かせください。	8
Q7	ご自身で工夫されたこと	9
Q8	小型コンポストについて、良かったと感じたこと	10
Q9	小型コンポストについて、ご不満な点	11
Q10	生ごみのたい肥化の今後の取り組みについて	12
Q11	自由意見 その他、ご意見やお気づきの点など	14
3	まとめ	15

1 実証実験概要

【目的】

普通ごみの中で最も多く排出されている生ごみの減量に向け、市民モニターを募集し、小型コンポストによる減量効果を検証する。

【実施内容】

本市が購入した小型コンポストを市民に無償貸与し、使用状況等についてアンケートを実施することにより、家庭から出される生ごみの堆肥化による生ごみの減量効果を検証する。

市民モニターの実施結果については、広く市民に情報提供することにより、生ごみの減量につなげる。

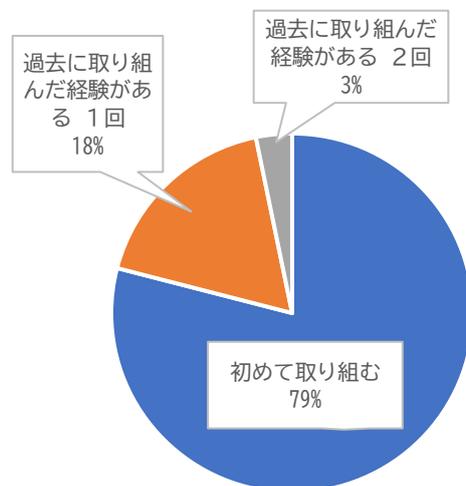
【モニター期間】

令和5年12月1日から令和6年11月30日までの期間のうち、モニター参加者が小型コンポストを貸与された日から6か月を経過した期間。

2 モニターアンケート結果

Q1 小型コンポストによる生ごみのたい肥化の経験について

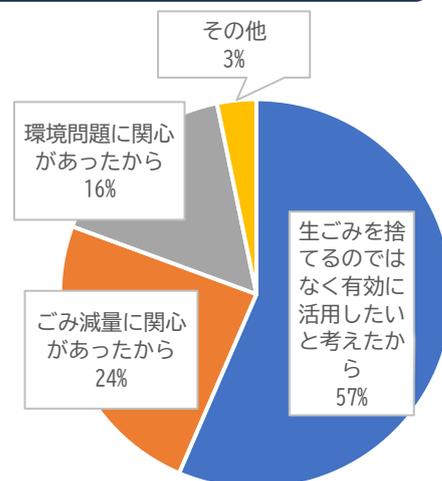
回答項目	回答数	割合
初めて取り組む	49	79%
過去に取り組んだ経験がある 1回	11	18%
過去に取り組んだ経験がある 2回	2	3%
全体	62	100%



コンポストを活用した家庭から出る生ごみのたい肥化に、初めて取り組む方が約8割を占めていました。

Q2 小型コンポストのモニターに応募したきっかけ、理由は

回答項目	回答数	割合
生ごみを捨てるのではなく有効に活用したいと考えたから	35	57%
ごみ減量に関心があったから	15	24%
環境問題に関心があったから	10	16%
その他	2	3%
合計	62	100%



その他内容

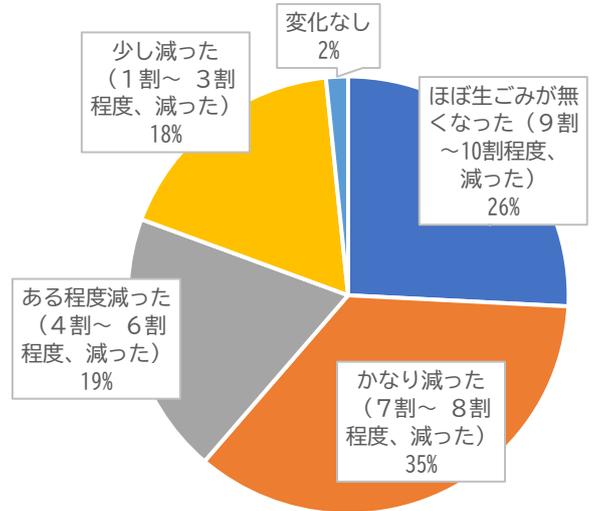
家庭菜園をしています。以前よりコンポストに興味を持っており、生ごみをたい肥として有効活用する機会があれば試してみたいと思っていました。

家庭菜園をランダで始めたため、肥料は自然の物がいいと思ったから。

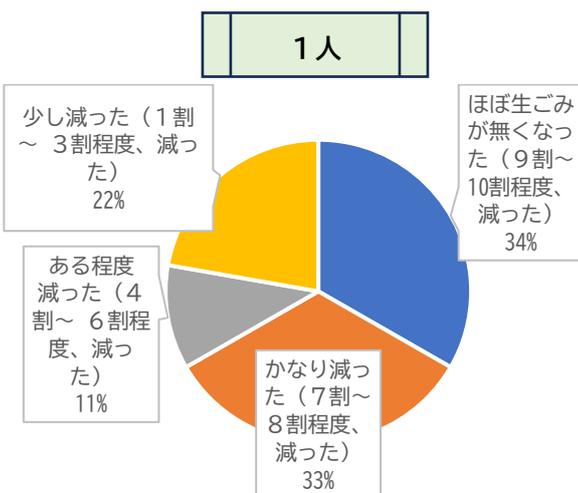
小型コンポストの活用により生ごみを有効活用したいと考えている方が半数以上となりました。

Q3 小型コンポストを利用することで、毎日のごみ量(生ごみ量)はどれくらい減りました

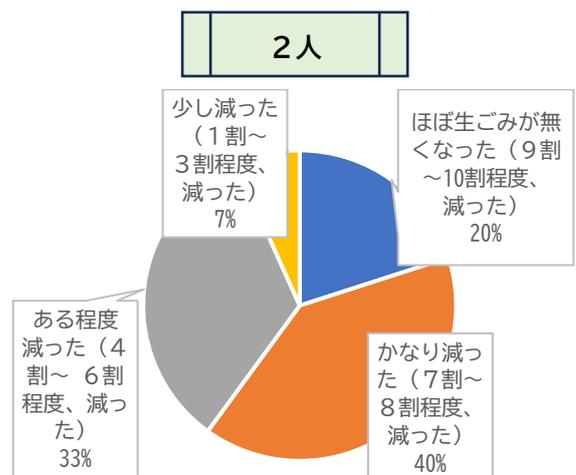
回答項目	回答数	割合
ほぼ生ごみが無くなった (9割～10割程度、減った)	16	26%
かなり減った (7割～8割程度、減った)	22	35%
ある程度減った (4割～6割程度、減った)	12	19%
少し減った (1割～3割程度、減った)	11	18%
変化なし	1	2%
合計	62	100%



同居人数による生ごみの減少割合	同居人数				
	1人	2人	3人	4人	5人以上
ほぼ生ごみが無くなった(9割～10割程度、減った)	3	3	4	1	0
かなり減った (7割～8割程度、減った)	3	6	4	3	0
ある程度減った (4割～6割程度、減った)	1	5	1	2	1
少し減った (1割～3割程度、減った)	2	1	0	2	1
変化なし	0	0	0	1	0
合計	9	15	9	9	2

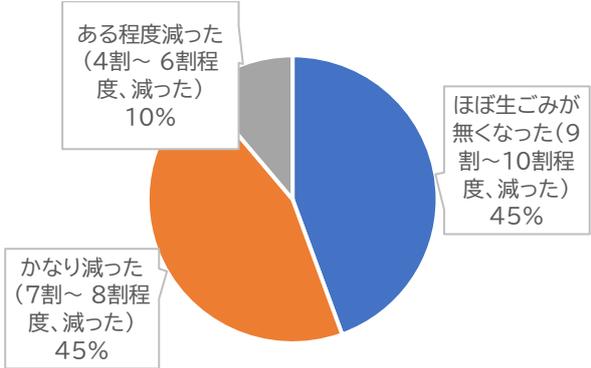


約7割の方が「ほぼ生ごみが無くなった」、
「かなり減った」であった。



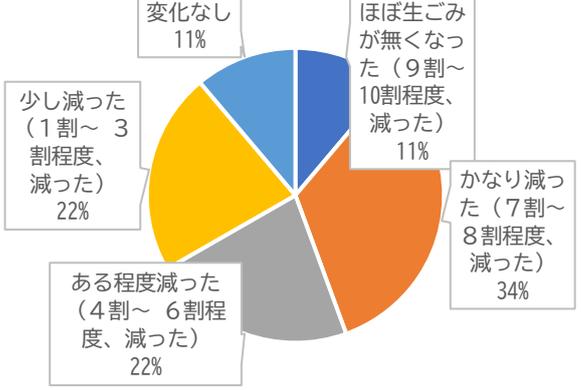
6割の方が「ほぼ生ごみが無くなった」、
「かなり減った」であった。

3人



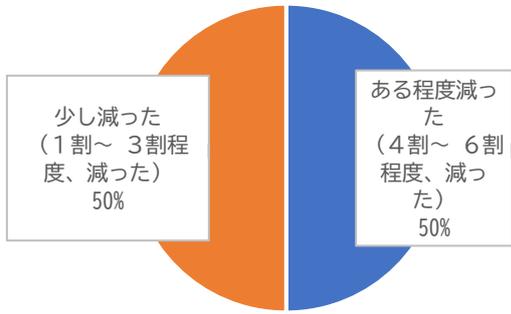
9割の方が「ほぼ生ごみが無くなった」、「かなり減った」であった。

4人



約5割の方が「ほぼ生ごみが無くなった」、「かなり減った」であった。

5人以上



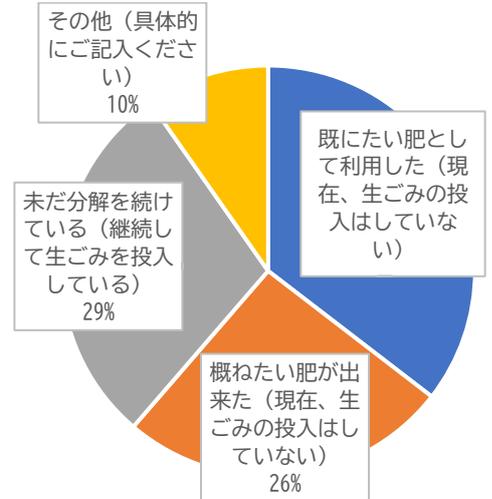
「ある程度減った」、「少し減った」との回答であり、「ほぼ生ごみが無くなった」、「かなり減った」との回答はなかった。



毎日の生ごみ量について、「ほぼ無くなった」、「かなり減った」が約6割となった。また、同居人数が5人以上の場合、「ある程度減った」、「少し減った」とどまった。これにより、今回の小型コンポストは、4人以下の家庭向きであると思われる。

Q4 小型コンポスの現状をお聞かせください。(たい肥の出来上がり状況)

回答項目	回答数	割合
既にたい肥として利用した (現在、生ごみの投入はしていない)	22	35%
概ねたい肥が出来た (現在、生ごみの投入はしていない)	16	26%
未だ分解を続けている (継続して生ごみを投入している)	18	29%
その他	6	10%
合計	62	100%



その他内容

6 月ごろに、たい肥ができたので半量は使用し、残りのたい肥に生ごみを投入しています。

すでに、たい肥として利用しました。生ごみ投入は 2 月まででした。

モニター分はたい肥にして、ベランダ菜園に利用しています。今は新たに購入した基材に生ごみを投入して、コンポストを継続しています。

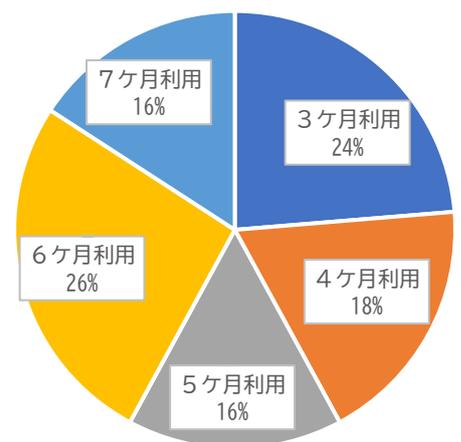
たい肥にはなっていないが、生ごみの投入はしていない(投入終了から 3 週経過)

たい肥化を進めてましたが途中コバエが大量発生してしまい途中で断念しました 水を入れたりかき混ぜる時にファスナーをあけたらたくさん飛びたっていくので 近隣への迷惑になると思いました

頂いた基材は既にたい肥として利用しました。現在 2 つめの基材を購入し継続して生ごみを投入しています。

【 たい肥化までの期間 】

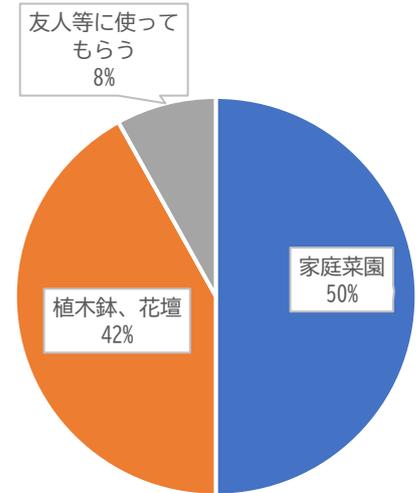
回答項目	回答数	割合
3ヶ月利用	9	24%
4ヶ月利用	7	18%
5ヶ月利用	6	16%
6ヶ月利用	10	26%
7ヶ月利用	6	16%
合計	38	100%



モニターを開始して6ヶ月を経過した時点で約6割の方は、生ごみの投入を終え、約3割の方は生ごみの投入を継続されている状態でした。また、生ごみの投入を終えた方のうち約半数の方は、たい肥として利用を開始されていました。

Q5 出来たい肥の利用方法をお聞かせください。(予定を含む)

回答項目	回答数	割合
家庭菜園	31	50%
植木鉢、花壇	26	42%
友人等に使ってもらう	5	8%
合計	62	100%

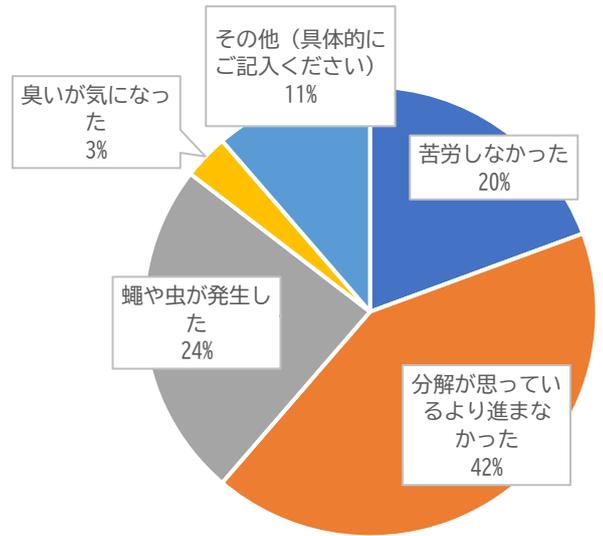


9割以上のモニターは、ご自身で利用いただいた一方で、8%の方は友人等に使ってもらうことで、たい肥を利用されていました。



Q6 取り組んでみて苦労した点をお聞かせください。

回答項目	回答数	割合
苦労しなかった	12	20%
分解が思っているより進まなかった	26	42%
蠅や虫が発生した	15	24%
臭いが気になった	2	3%
その他(具体的にご記入ください)	7	11%
合計	62	100%



その他内容

1. 生ごみ投入量の限度の見極める判断がむずかしく、トータル 20 キログラムで処理可能と説明がりましたが、3 か月期間をもって投入終了としました。
2. 熟成期間は発熱の有無をもって判断とありましたが、その発熱量が微妙にわかりにくく、生ごみが見られなくなった状態で完了と判断しました。
3. 生ごみを投入している段階での水分管理が、特に基材が最初乾燥しているため生ごみに含まれる水分だけでは不足し分解が進まず調整するのが難しかったです。特に、バッグの大きさに対して基材の量が多く上下バランスよく混ぜるのが難しかったです。

ベランダのプランターしか、使い道がないので、続けて取り組めない。

生ごみと普通ごみを一旦分けておいておくことが面倒にかんじた

生ごみの量が多すぎて、仕方なく普通ごみに捨ててしまう。

生ごみをベランダに持っていくのがめんどかった。野菜くずなどを小さく切るのがめんどかった。

土を均等に混ぜるのに少し時間(と言っても 3 分程度ですが)がかかった

毎日混ぜる等の気持ちの継続 野良猫対策 口が狭く混ぜにくくこぼれるのでその掃除

2 割の方が「苦労しなかった」と回答した一方で、約4割の方は「分解が思ってるより進まなかった」と回答されています。

また、約2割の方は「ハエや虫が発生した」ことを苦労した点にあげています。

Q7 ご自身で工夫されたこと

回答内容
臭いが気になった時はひっくり返して全体を混ぜるようにしていました。
投入前の生ごみをあまり濡らさないようにしていました。
虫が嫌だったのでファスナーは必ずキッチリ閉めました。
魚を食べた時は、美味しい肥料になる様、脂も一滴残らず入れる様にしました。
雨の日などコンパストバック濡らさないよう干し物棒につるし水分量の管理を行った。
1週間に一度バック内の内容物がよく混ざるようバックのファスナーを閉じよく振ったり、ぐるぐる回したりした。
生ごみの選別を行い、骨・玉ねぎの皮・卵の殻は除去し投入した。
いろんな種類の生ごみを投入
お肉などニオイの強いものは臭くなるのが怖かったので入れないようにしていた。
小さな蓋付きの容器に生ごみを溜めていっぱいになったらコンポストに入れるようにしました。計量しなくても重量がわかるようになり、一度の量が入れすぎになりませんでした。
コンポストの通気性を良くするために猫避けマットを敷いた
たい肥化を早めるために米糠を投入した。
なかなか分解しなかった卵の殻とタマネギの皮、蟹の甲羅等はいれないようにした。
なるべく、生ごみを細くした
甘いものや油ものをいれるとよいと書いてあったので、アドバイスどおりにしました。
固形の生ごみだけでなく、液体の生ごみ(ヨーグルトの容器に水を入れて溶かしたもの)を入れました。容器を洗うついでに、ヨーグルト菌も入るので一石二鳥です。

ご自身で工夫されたことについて、「分解を促進するように、生ごみを細かく投入」、「よく混ぜる」、「なかなか分解されない卵の殻や、玉ねぎの皮、蟹の甲羅を省き投入」など回答がありました。



Q8 小型コンポストについて、良かったと感じたこと

回答内容
生ごみが減ったことが良かったです。
野菜が作れたので良かったです。できたたい肥の方がよく育った。
この小型コンポストは、虫が入らないので良いと思います。臭いも全くありません。
いつも廃棄しているものが次に繋げられて、子供とも会話が広がりました。またたい肥から別の芽が出た事も楽しかったです。
ごみが格段に少なくなり匂いも気にならなかった事
ごみの削減になるので 手間を惜しまず、楽しく皆さんで利用出来る制度が 出来れば嬉しいです。
コンパクトなバッグタイプなのではじめは家のキッチンに置いてすぐ生ごみを入れられるようにできて便利だと思いました。
バッグがおしゃれで防水。持ち手があるので引っかけられる。持ち運び、場所の移動等取り扱いが容易です。
コンポストがきっかけで花壇を始めることができ、自分で作った堆肥で育てることでより愛情が沸きました。
ゴミ箱から生ごみ臭がしなくなった。
過程で出る生ごみの量を知ることができた
環境に優しいことをしている気になった。
子供が楽しんでた
生ごみが7割ほど削減できたたい肥として活用できたこと。生ごみは80%水分と言われているので、ごみの焼却で発生するCO2の削減にも役立ったかなと思う。
生ごみが思った以上に多くて、びっくりしました。ごみの事を考えるきっかけになりました。
生ごみを出す頻度がかなり減った(週2回から2週間に1度程度に減った)
生ごみを有効活用できる点。

良かったと感じたことにつきまして、「生ごみが減った」、「生ごみを活用できた」、「環境に良いことを行っている」、「コンパクトなバッグタイプのため、持ち運び、場所の移動等取り扱いが容易である」、「できたたい肥で野菜等を育てることができた」とのご意見がありました。



Q9 小型コンポストについて、ご不満な点

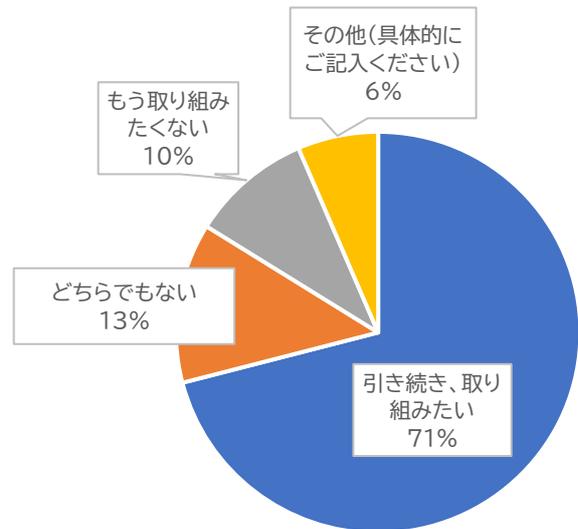
回答内容
はじめは気温低かったのか生ごみの分解が思ったより進まなかった。
虫が発生し御近所様の事あり、早めに終了をした。
継続を考えた時に基材を追加購入する費用がかかることです。
コンポストの土を混ぜるのは、思った以上に力が必要でした。中心部はどうしても上手く混ざらないので、硬く固まってしまう事がありました。
コンポストの入れ物が、生ごみ投入時に間口が狭いように感じました。
ありません。
たい肥ができすぎて使い切れていない。もっと小さいサイズがあればよい。
できたたい肥を自分だけでなく、広い地域で活用できるようなシステムが必要。
もっと早く分解が進めば嬉しい
やはり少し匂いがしたことと、ベランダに置いていたので、キッチンからベランダへごみを持って行くのが面倒くさかったこと。
レクチャー自体はわかりやすかったのですが、たい肥が出来上がった「正解」の姿や、生ごみの適量が見極められなくて悩みました。
一時ファスナーを開けると虫が一斉に飛び出し家の中には行って大騒ぎしたことがある
自治体で回収などを考えていただかないとコンポストの普及は難しいと思います
基材が高い(2000 円くらい。送料もかかる)のが、ネックだと思います。
室内では匂いが気になった

ご不満な点として、「生ごみの分解が思ったより進まなかった」、「たい肥ができすぎて使い切れない」、「虫の発生」、また「経済的負担」などのご回答がありました。



Q10 生ごみのたい肥化の今後の取り組みについて

回答項目	回答数	割合
引き続き、取り組みたい	44	71%
どちらでもない	8	13%
もう取り組みたくない	6	10%
その他	4	6%
合計	62	100%



引き続き、取り組みたい理由（44人）

ごみの量がかなり減ったことと、分解される過程も毎回楽しみだったから。

ごみの量を減らしたい事、家庭菜園の肥料になる事、子供と楽しく取り組める事、子供が周りの友達にもお話しして拡がる事、などの理由から、引き続き取り組みたいです。

キッチンでの生ごみの臭いを気にしなくなるから。

ベランダ菜園の肥料として使いたいから。

もう少し長い時間をかけてみたい。

夏になっても引き続きコンポストを利用していますが、懸念していた虫の発生も、さほど酷いことにはならず済んだので、年間を通して使えると実感しました。ベランダで育てている野菜を観察したり、世話したりするのも楽しめているので、コンポストは続けるつもりです。

その期間以外はやはり出た生ごみをすぐ処分できるという面では便利です。

環境保護のために何かしたいから

是非、皆んなで取り組めたら良いと思います。3人に熱弁して2人が取り組み始めました。

自分の暮らしに合っていて、無理なく続ける事が出来ました。生ごみを入れる内に愛着が湧いてしまい、ペットのような存在になってしまったのでもう手放せません。

分解されてく様子が楽しい。

ごみ出しの回数も減りました。コンポストも小さく邪魔にならないので、続けたいと思います。

どちらでもない理由（8人）
コスト面を考えたいです。
ごみが減って嬉しいが、たい肥の使い道に困っている。送って野菜がもらえると聞いたが、輸送にかかるco2 排出もあるので、あまり前向きになれない
やり方が今一つ分かっていないので、もう少しわかりやすい方法でしてみたいと思います。
引き続きやりたい気持ちもあるが、たい肥を使いきれないのでできない。
個人的にコンポストの取り組みは楽しいのですが、虫の発生が家庭内で問題になっているからです。完璧に管理できる余裕がない以上は難しいかなと感じています。
出来上がった肥料を使うところが無いから。
色んな人に無料配布したら、喜ばれると思います。
続けたい気持ちもあるけど、面倒な気持ちもあるので。

もう取り組みたくない理由（6人）
マンション住まいのためご近所への配慮を欠かせず、発生した虫は無害であるが、虫の発生状況を見るとどうしても辞めざるをえないと感じる。
コンポストをこぼしてしまったときの処理が大変だったため
生ごみを肥料として使うには、家庭菜園では土が余ってしまうから、コンポストを使う必要を感じなかった
肥料として使うときにコバエがわくから(水やりのたびにいたので不愉快)。
分解の速度が遅すぎる 1年かかってもたい肥にならないのでは
有効活用ができていないから。

その他（4人）
少しずつ使っているので、使い終わったら、また取り組みたい。
生ごみがなくなり、たい肥になるのは良いが継続して中身を買わなければ行けないのが少しネック。夏場は臭くなり、虫が寄りそうなので冬場をメインにやりたいと思う。
虫問題が改善されるやり方がわかったり、今は都会のマンション住まいなのでもう少しゆったりとした土地で暮らす事があればまたチャレンジしたいです
毎日 400 グラム近い生ごみが減ってとても良かった。ごみの嵩も全く違った。

約7割の方が「引き続きコンポストに取り組みたい」と回答されていました。
 約1割の方は「どちらでもない」と回答され、さらに約1割の方は「もう取り組みたくない」と回答されましたが、いずれも、出来上がったたい肥の利用先がないことを理由にあげられました。
 また、虫の発生も理由に挙げられました。

Q11 自由意見 その他、ご意見やお気づきの点など

<p>・やはり虫対策が必要な課題となるので、発生原因とその対策が必要と感じる。</p> <p>・今回はコンポにとによる生ごみを肥料としての活用であったが、目的を掲げた進行管理が必要と感じた。例えば目標を生ごみの活用ではなく、草花を大きく・綺麗に育てようとか、野菜をこどもと育てサラダを作ろう。のような具体的目標上げ、それに向けて草花には〇〇の生ごみの肥料が良いとか野菜には××な生ごみの肥料が良いとか。目標に合った行動が良いのではないかと感じた。</p>
<p>都会のマンションのベランダでも続けやすく、核家族にピッタリサイズで使いやすいと思いますが、基材が高いので、大阪市で補助金などを出していただけると、続けやすくありがたいと思います。</p>
<p>ゴーヤ・トマト・シソ・ミニスイカ・鉢植えの植物等、たい肥として利用しました。今も収穫したジャガイモを頂いたのですが中には傷んでいるものもありコンポストに投入。しかし、猛暑でバツクの表面に近い部分の乾燥が激しく、ついお水を入れすぎて底から垂れてしまうと言う事があり バツクを回転させてめぐり良く管理しています。</p>
<p>コンポストが外置きのため、捨てにくいのが面倒になりがち</p>
<p>コンポストの活用がもっと広く行き渡るといいなと感じました。以前から気になっていましたが、なかなか取り組めていなかったのも、とても良い機会をいただけて感謝しています。</p>
<p>コンポストを続けるとしても割高なラーニングコストが気になります。もう少し手頃であれば普及もしやすいかと</p>
<p>ひと月に一度くらいでもいいので、コンポストバッグの中身を見てもらえて、アドバイスをいただけたら 初心者には安心して進めていけ、独自に工夫などもできるようになるかと思いました。</p>
<p>ほとんど無臭ですので、今後も、貸与を是非続けていただきたい。</p>
<p>一世帯にひとつコンポストがあれば、ごみの量が減るなど思った。たい肥として使えない家庭でも、区の緑の栽培に引き取りをしてくれると助かると思う。</p>
<p>外からの虫の侵入はないとの事でしたが 中からコバエが大量に発生してしまったので そういった場合の対処の仕方もツールであればいいと思いました</p>
<p>今回、コンポストを使えてどんなものかわかり、取り組んでいきたいと思えました。大変よかったです。</p>
<p>今回の小型コンポストは素敵な取組みだと感じた。実際にやってみると、ごみ捨ての際に、生ごみがあるのとならないのでは、ごみの量や重さが違うのがよくわかった。家庭ごみ減量のため、これからもコンポストに取組みたいので、続けていくための秘訣などを大阪市から発信してもらいたい。</p>
<p>市や区の栽培取組みなどに、たい肥を持っていったらポイントがもらえて、スーパーなどで使えるようになったら嬉しいです。</p>
<p>日頃何気なく捨てているごみが分解できるものなのか考えるきっかけをいただきました。</p>
<p>野菜の皮など細かいものは分解しましたが、芯の部分がなかなか分解せず、大根の芯から葉っぱが成長してしまいました。</p>
<p>廃棄物が無くなって、エコな取組が出来た感じがした。</p>

まとめ

大阪市では、小型コンポストの利用により家庭から出る生ごみの減量効果等を検証するため、実証実験を行いました。

モニターの皆さんに小型コンポストを約6か月間ご利用いただいた結果、98%の方から「生ごみが減った」と回答があり、そのうち26%の方が「ほぼ生ごみが無くなった」、また、35%の方が「かなり減った」と回答されました。

また、71%の方が、生ごみのたい肥化に「引き続き取り組みたい」と回答され、小型コンポストの利用は、大阪市における家庭系ごみの減量に効果的であることが分かりました。

一方で、出来上がったたい肥が家庭菜園などでは使いきれず、使い道に困ってしまうというご意見が多く寄せられました。また、虫の発生に困ったというご意見や、生ごみの分解が思っているより進まず、小型コンポストの使い方へのアドバイスがあればよいというご意見もありました。

今後、小型コンポストの利用により生ごみの減量を進めていくためには、小型コンポストの使い方やコツなど情報発信とともに、出来上がったたい肥の受け入れ先の確保が必要であることが分かりました。

大阪市では、今回の実証実験で得られた成果を今後の施策に活かし、生ごみの減量に取り組んでまいります。

モニターにご参加いただいた皆さんには、多大なご協力をいただき、誠にありがとうございました。

